

東 愛 知 新 聞

豊橋美博に響く美しい音色

友の会30周年事業でコンサート

ソプラノとピアノの夕べ

約100人の聴衆を魅了したロビーコンサート
＝豊橋市美術博物館で(同会提供)

豊橋市美術博物館友の会(宮田正人会長)は10日夜、友の会創立30周年記念事業として、同市美術博物館ロビーでミュージアム・コンサート「木下侑&野畑さおり ソプラノとピアノの夕べ」を開いた。豊橋出身

で東京二期会会員の木下さん(ソプラノ)、桜丘高校音楽科ピアノ科主任で国内外の楽団と共演経験を重ねる野畑さん(ピアノ)が出演、詰めかけた約100人の聴衆が美しい調べに耳を傾けた。

コンサートは、「ウィリアム・モリス」原風景でたどるデザインの軌跡」によせて」と銘打ち、現在同館で開催中の企画展に合わせて2人が選んだイギリスの歌11曲を演奏した。2人の共演は今回初で、何度も同

館へ足を運んで展覧会を鑑賞し選曲したという。コンサートでは「蝶と花」(フォーレ)、「野バラ」(シューベルト)、「たんぽぽ」(中田喜直)、「イギリスメドレー」、「アベ・マリア」(マスカニー)などのほか、野畑さんによる自身編曲の「お祝いの詩 from English composers」、映画「ロミオとジュリエット」のテーマのピアノソロなど披露。夕闇の中で響く、神秘的かつ迫力ある演奏は聴衆を魅了。鳴り止まぬ拍手に込めて2回のアンコールが行われるなど、演奏者と聴衆が一体となつてモリスの世界観を音楽で楽しんだ。

演奏後、木下さんは美術館で歌えるなんて、忘れられない幸せなコンサートとなりました」と、野畑さんは「ロビーの美しい残響で臨みました」とそれぞれをかみ締めながら、全力で語っていた。(田中博子)